

暑い夏を乗り切るため 出穂前の追肥を検討し、飽水管理を徹底!

- ・ 連日の高温で、2回目の穂肥後でも、葉色が低下しているほ場がみられます。
- ・ コシヒカ리의出穂期は8月6日頃(平年並)の見込みですが、出穂の早いほ場も見られます。
- ・ 気象庁では、特に8月前半の気温はかなり高いと予報しています。

1 7月30日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)

葉色:目標並 (一部で葉色低下がみられる)

区分	本年値	目標差	前年差
葉色 (SPAD)	32.9	-0.1	+2.7

2 コシヒカリの管理ポイント

出穂期以降高温が続き、栄養不足の状態に登熟すると、未熟粒が多く発生します。ただちに葉色を確認し、出穂前の栄養確保に努めましょう。

(1) 一発肥料の場合: 葉色低下で追肥を実施

葉色が低下しているほ場では追肥を実施する。

(2) 分施肥体系の場合: 3回目の穂肥を検討

2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3日前までに3回目の穂肥を実施する。

○ 葉色、施肥量の判断に迷う場合は、JA や普及センターに御相談ください。

JA営農窓口では葉緑素計(SPAD)の貸出しを行っていますので御活用ください。

地力の高いほ場などで追肥される場合は、タンパク基準超過に御注意ください。

3 水管理

- ・ 出穂期から25日間は飽水管理等を継続し、稲の水分供給を図る。
- ・ 異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に湛水する。ただし、高温条件での長期湛水は根腐れにつながるため、フェーン等が収まったら早めに飽水管理等に移行する。

8月も気温が高い日が続く見込みです。草刈りや穂肥施用など屋外での農作業は、気温の高い時間帯を避け、水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。